

令和7年度第42回北海道実習

今年度北海道実習に参加した生徒達が、北海道十勝清水町の広報誌に取り上げられ掲載されました。実習期間中は、慣れない仕事でも一生懸命作業し無事ファームステイを終えることができました。このプログラムに携わってくださった多くの皆様に、心より感謝申し上げます。



町内酪農家さんのもとでファームステイ

水戸農業高校生6名が町内で農業実習

7月30日から8月4日、茨城県立水戸農業高等学校の生徒6名が農業実習を行いました。同校生徒は、町内酪農家の西山幸子さんや夏目さかえさんのもとでファームステイなどをしながら十勝の酪農業を学びました。同校3年生の浅野志歩さんは「実際の現場で、貴重な知識や技術を学べました。この経験を将来に生かします!」と話されました。



本年8月、茨城県立水戸農業高等学校から第42回北海道農業実習として、6名の生徒が来町し、生産者のお宅でホームステイ実習を行なわれました。この実習は、勤労精神を養うとともに北海道の風俗文化に接し健全なる心身の育成を図ること、実習を通して得られた経験を今後の農業教育に生かすことを目的に行われています。実習期間のうち7月30日から8月3日まで、郷愛西山光徳氏・昭和夏目尚久氏のお宅でホームステイをしながら十勝の農業を学んでいました。期間中の8月1日には、上清水の「十勝アルブスマ牧場」を訪れ、牧場見学を行いました。生徒からは、「茨城と比較して明け方の気温が冷涼で、搾乳のしやすい環境だと思った」や、「牧場ソフトなどの販売が多く、酪農家の多さとも関連があるのではないか」など、道外から実習生ならではの感想を持つたようでした。4日の解散式では、生徒から「現場に出て働くことの貴重な経験が出来ました」とホストアミリーへ感謝の言葉が伝えられ、西山先生氏は「知らない人の家に泊まつて仕事をするというの凄い経験です。今回の欲しさを活かして是非農業に携わる仕事をしてみたい」と生徒6名を激励しました。今回お見送り後に記念撮影を行い、帰途につく生徒を見送りました。



北海道農業実習 水戸農高生受け入れ

とき..7月30日～8月4日
ところ..清水町内組合員宅